

International Main Group Element Chemistry Seminar 2022 (IMECS-2022)

・趣旨

リン・硫黄・ケイ素など、様々な元素を有する化合物の多くが、医薬・農薬・高分子・エレクトロニクス等、多種多様な有機工業化学の主原料として重要なばかりでなく、特に、エネルギー資源問題の観点からも、希少な金属元素の代替として豊富な典型元素を活用した機能性物質創製は注目されている。典型元素化学という学問分野は、元素そのものの特性が化合物の多様性を生み出していると考え、多彩な元素個々の元素特性を抽出し、系統的理解をすることを目指している。特に、ユニークな機能・物性の根源となるのは、第三周期以降の高周期典型元素の結合の多様性であり、有機化学の中心を担う第二周期元素である炭素、窒素、酸素等と比較し、その価数や配位数を自在に変えることが可能である点にある。このような背景に鑑み、近年高周期典型元素を基本骨格とする新規物質創製が精力的に行われ、様々な機能を持つ新規物質が数多く合成されている。今後も元素の特性を生かすことにより、新規機能性物質の創製、新規反応の開発などが行われることが期待される。本典型元素化学セミナーでは、国際的に典型元素化学分野を牽引する日本とドイツの盤石な共同研究体制を構築することを目的とし、ドイツおよび日本それぞれの典型元素化学を牽引してきた著名な研究者に基調講演を依頼し、日本国内の中堅・若手の典型元素化学研究者および大学院生が集う研究集会を開催する。本研究会を通じて、特に典型元素化学の将来を担う、中堅・若手研究者・大学院生たちにとって、お互いの研究成果発表を通じた有意義な研究討論を行い、さらにポスター発表にて深いディスカッション・討論を行うことのできる、貴重な場を提供する。

・日時・場所

2022年9月3日(土) 10:00~20:00

筑波大学(茨城県つくば市天王台1-1-1) 総合研究B棟0110室、0112室

・プログラム(敬称略)(全ての研究発表は英語で行います。)

10:00-10:10 開会挨拶 (笹森貴裕(筑波大学))
10:10-10:30 (招待講演) 吾郷友宏(茨城大学)
10:30-10:50 (招待講演) 森迫祥吾(筑波大学)
10:50-11:10 (招待講演) 菅又功(立教大学)
11:10-13:20 ポスター発表A(ランチディスカッション)
13:20-13:50 (招待講演) 佐藤総一(東洋大学教授)
13:50-14:20 (招待講演) 岩本武明(東北大学教授)
14:20-14:40 休憩
14:40-15:00 (基調講演) 吉藤正明(東北大名誉教授)
15:00-16:00 (基調講演) Rainer Streubel(ボン大学教授)
16:00-18:20 ポスター発表B
18:20-20:00 ミキサー 研究討論

・参加申込方法

以下を明記し、2022年8月5日までにe-mailにて実行委員長までお申し込み下さい。
(1)参加者氏名、(2)所属、(3)身分・学年、(4)連絡先(住所・e-mailアドレス・電話番号)
(5)ポスター発表の希望の有無(希望があれば、そのタイトル)

・参加登録費

一般参加:3,000円、学生:1,500円(当日、受付にてお支払い下さい。)

・主催/共催、運営委員会・参加申込先

主催:筑波大学数理物質系化学域笹森研究室

共催:筑波大学エネルギー物質科学研究センター(TREMS)

実行委員:笹森貴裕・森迫祥吾(筑波大学数理物質系化学域, TREMS)

連絡先:305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学数理物質系化学域

(実行委員長) 笹森貴裕 e-mail: sasamori@chem.stukuba.ac.jp tel:029-853-4412